

進化的アプローチによる連続協力ゲームにおける提携形成戦略のシミュレーション（研究の構想発表）

| | |
|-------|--|
| メタデータ | 言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-05-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 堀江, 将章, 福田, 直樹 メールアドレス: 所属: |
| URL | http://hdl.handle.net/10297/00026616 |

進化的アプローチによる連続協力ゲームにおける提携形成戦略のシミュレーション

堀江将章（情報学専攻），福田直樹（学術院情報学領域）

本研究の背景としては，連続協力ゲームに慣性を導入するための進化的アプローチがある．連続協力ゲームには，時系列による協力ゲームにおけるルールの集合の追加や削除といった変化と参加エージェントの増減のような協力ゲームの環境の変化と，提携構造の変化に対する慣性が導入されている．先行研究で試作した連続協力ゲームシミュレーション機構は，提携形成部が全体の利得を最大化することを目的に実装されており，各エージェントの提携形成戦略をシミュレートできるようにすることで，異なる戦略を持ったプレイヤーが一つの連続協力ゲームの環境にいる場合の提携形成過程を観察できる．本研究では，シミュレータにマルチエージェント学習を導入することにより，提携形成戦略を導入した場合の連続協力ゲームのシミュレーションについて述べる．